

大仙市財務会計システム調達 シナリオデモ仕様書

1. 目的

本シナリオデモは、提案された財務会計システムの操作性・直感性・処理効率を比較検討するために実施するものである。本仕様書に基づき、各業者は指定シナリオを操作し、その画面操作を録画した動画を提出すること。

2. シナリオ名称

伝票起票と承認

3. 想定業務

職員が発注した消耗品の支払い処理を行い、起票した伝票を決裁ルートに回送し、最終決裁者が決裁を行う一連の流れを想定。

また、500 万円以上の調定書起票や次年度当初予算要求に関する業務も指定する。

4. デモ対象範囲

- ① 伝票起票(支出負担兼支出命令書)
- ② 電子決裁ルートへの回付
- ③ 決裁者による確認・決裁処理
- ④ 調定起票(500 万円以上の場合)
- ⑤ 当初予算要求

5. シナリオ詳細手順

- ① 伝票起票(支出負担行為兼支出命令書)
 - ・システムにログインする(一般職員権限)。
 - ・「支出負担行為兼支出命令書」画面を開く。
 - ・以下の内容を入力する
 - 科目:消耗品費
 - 支出目的:消耗品代として
 - 支出金額:15,000 円
 - 支払方法:口座振込
 - ・入力チェックを実行し、エラーや警告の有無を確認する。
 - ・伝票を保存する。
 - ・添付資料(請求書)を添付する
- ② 電子決裁ルートへの回送(起票者操作)

- ・決裁ルートを設定する
 - ※回送先に「課長(決裁者)」を選択する
- ・登録した伝票を決裁に回付する。

③ 決裁処理(決裁者操作)

- ・アカウントにログインする(課長権限)
- ・承認待ち伝票一覧を表示する。
- ・起票者が登録した伝票を開く。
- ・起案内容、添付資料を確認する
- ・決裁ボタンを押下する。
- ・決裁済み伝票の一覧を表示し、決裁結果を確認する。

④ 調定起票(500 万円以上の場合)

- ・システムにログインする(一般職員権限)
- ・メインメニューから「歳入管理」→「調定処理」メニューを選択
- ・科目体系(款・項・目・節・款別科目コード)から収入科目を検索・選択
- ・以下の内容を入力する
 - － 調定金額:5,100,000 円
 - － 納入者:任意
 - － 調定理由:「令和7年度補助金」
 - － 納期限:カレンダーから任意の日付を選択
- ・添付資料(資料名任意)を登録
- ・登録した伝票を決裁に回付する

【決裁ルート】

起案者 → 決裁者(課長)

→ 会計課担当 → 会計課班長 → 会計課長 → 会計管理者

- ・決裁処理は不要

⑤ 当初予算要求

- ・メインメニューから「予算編成」→「当初予算要求」メニューを選択
 - ・「年度」欄から「令和 9 年度(2027 年度)」をプルダウンで選択
 - ・「新規要求入力」ボタンをクリック
 - ・科目体系(款・項・目・節)を検索またはツリー表示から選択
- 例)款 2 総務費 → 項 1 一般管理費 → 目 2 庁舎管理費 → 節 12 需用費
- ・該当の節をダブルクリックし入力画面へ遷移

- ・要求内容を入力する
 - 「要求金額」欄に 500,000 円を入力
 - 「要求項目名」に「庁舎照明 LED 化に伴う備品購入」と入力
- ・「保存」ボタンをクリック
- ・保存後、所属の「要求一覧」画面に登録データが反映されたことを確認する

6. 動画作成に関する要件

- ・特定シナリオとシステム内動作の流れが異なる場合は、シナリオに最も近い流れとなるよう操作すること。
- ・操作画面をすべて録画すること(カーソル操作、クリック箇所が分かるようにする)。
- ・編集してもかまわないが、カットは禁止する。早送りする場合は速度を表示すること。
- ・音声解説は任意とする。画面に操作手順や入力内容が自動で表示される場合はそのまま残してよい。
- ・個人情報の映り込みは禁止する。
- ・すべてのシナリオを一つの動画ファイルに収め、動画の長さは 10 分以内とする。
- ・動画の提出形式は MP4 形式(解像度 1280×720)とする。